

第4学年2組 道徳科学習指導案

令和5年6月6日(火) 第3校時

場所 4年2組教室

1 主題名 みんなのためのきまり 内容項目 [C 規則の尊重]

2 ねらい きまりやルールは、みんなが気持ちよく生活するためにあることを理解し、進んで決まりを守ろうとする態度を養う。

教材名 「雨のバス停留所で」

出典 「新・みんなの道徳」学研教育みらいより
成田國英「雨のバス停留所で」

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本題材は、小学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編、内容項目 C-(11)「規律の尊重」の「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」を受けている。

児童が成長していく過程では、集団や社会を構成する一員として、集団や社会の様々な規律を身に付けていくことが必要である。身近な集団におけるよりよい人間関係における規律意識について考えさせるためにも重要な項目である。

中学年の段階においては、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。このような時期だからこそ、集団生活をするうえで、一人一人が相手や周りの人の立場に立ちよりよい人間関係を築くことの大切さや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりの必然性を十分に考えさせたい。

(2) 児童のこれまでの学習状況及び実態について

本学級の児童は、優しく友達想いで、困っている友達に手を差し伸べてくれる児童が多い。約束やきまりを守ることは大切だとわかっていても、自分の都合や自分勝手な解釈で行動してしまう様子も見られる。約束やきまりを守ろうとする児童もいるが、なぜ約束やきまりを守って生活することが大切なのかを理解している児童は少ない。社会生活においては、きまりだから守るということだけでなく、自分で状況を判断し、相手や周りの人の立場に立って守らなければならない約束やきまりを考えていく必要がある。本時の学修では、集団生活

をするうえで、一人一人が相手や周りの人の立場に立って行動しようとする道徳的判断力を育てていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公のよし子が雨の日のバス停留所での並び方をめぐって、自分本位な行動を振り返り、どう行動すればよかったのかを考える教材である。

本時の指導に当たっては、まず、きまりは大切であるという意識をもっているが、きまりを守れたことがあるという意識と行動のズレから問題意識をもたせる。次に、並んでいた人たちを追い抜こうとした後、普段とは違う母の横顔を見たときの主人公の心情に共感させながら追及させる。そのうえで、周りの人に与えた影響に着目し、周りの人が感じた迷惑とはどのようなものかを考えさせ、迷惑をかけないようにするために必要な心や行動に気付かせる。

このように、相手や周りの人の立場に立って考えることで、守らなければならない約束やきまりについて考えることができる教材であると言える。

以上のことから、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発現	○指導上の留意点 ☆評価への観点
導入	<p>1 「きまりやマナー」について考える。</p> <p>○学校や生活をするうえでどんなきまりやマナーがありますか。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の遊具で遊ぶときは並んで遊ぶ。 ・廊下は走らない。 	<p>○身の回りには、たくさんのきまりやマナーがあることに気付かせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">きまりやマナーはなぜ必要なのか考えよう。</div>			

<p>展開</p>	<p>3 範読を聞き、話の理解をする。</p> <p>4 学習課題について話し合う。</p> <p>○すぐにかけて出し先頭に並んだよし子さんはどんなことを考えていたか。</p> <p>○お母さんに引き戻されたよし子さんは、どんなことを考えたか。</p> <p>○自分がしたことを考え始めたよし子さんは、何を考えたか。</p> <p>5 本時の学習課題について自分の考えを持つ。</p> <p>○きまりやマナーはなぜ必要なのか、考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雨に濡れたくない。 ・席に座りたい。 ・誰もバス停には並んでいないな。 ・座れなかったらお母さんのせいだ。 ・せっかく先頭に並んだのに。 ・お母さんを怒らしてしまったな。 ・自分のことしか考えていなかったな。 ・何か間違ったことをしたかな。 ・みんなが気持ちよく過ごすため。 ・安心、安全な生活を送るため。 	<p>○登場人物やバス停留所の状況を整理する。</p> <p>○よし子の行動や心情に着目させる。</p> <p>○雨の中バス停には誰も並んでいないことに気付かせ、早く乗りたいというよし子さんの心を共感的にとらえやすくする。</p> <p>○引き戻されたことに納得がいかないよし子さんに共感させる。</p> <p>○集団生活の中では周りの人の立場になって考え、行動することが大切であることに気付かせる。</p> <p>○自分がその立場だったらどう思うか考えさせる。</p> <p>☆社会の中ではきまりやマナーを守らないと気持ちよく過ごせないということを考えられていたか。 (発表、ワークシート)</p> <p>○みんなには安心で楽しい生活をしたいという思いがあり、それを実現するために決まりがあることを理解させる。</p> <p>☆きまりやマナーが必要な理由を考えられたか。 (発表、ワークシート)</p>
-----------	--	---	--

終末	教師の説話。		○ねらいとする価値の認識を図り、今後の生き方に発展させる。
----	--------	--	-------------------------------

5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・社会の中ではきまりやマナーを守らないと、互いに気持ちよく過ごすことができないことを多面的・多角的に考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・きまりが必要な理由について考え、自分の生活に関連付けて考えている。

6 板書計画

雨のバス停留所で

- ・ろうかはずらさず歩く。
- ・時間をまもって行動する。

(め) きまりやルールはなぜ必要なのか考えよう。

登場人物 よし子、お母さん

きまりやルールはなぜ必要なのだろう

- ・みんなが気持ちよく過ごすため。
- ・安心安全な生活を送るため。

絵

- ・自分のことしか考えていなかったな。
- ・何か間違ったことをしたかな。

自分がしたことを考え始めたよし子さんは、何を考えたか。

絵

- ・座れなかったらお母さんのせいだ。
- ・せっかく先頭に並んだのに。

お母さんに引き戻されたよし子さんはどのような事を考えていたか。

絵

- ・雨に濡れたくない。
- ・座りたい。

すぐに出し先頭に並んだよし子さんはどんなことを考えていたか。

7 ICT 活用計画

- ・大型テレビ (デジタル教科書)

8 ワークシート

雨のバス停留所で

名前 _____

【課題】 きまりやマナーはなぜ必要なのか考えよう。

○いつもと違うお母さんを見てよしこさんは
どんなことを考えていたのか。

【まとめ】

【ふり返り】